

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

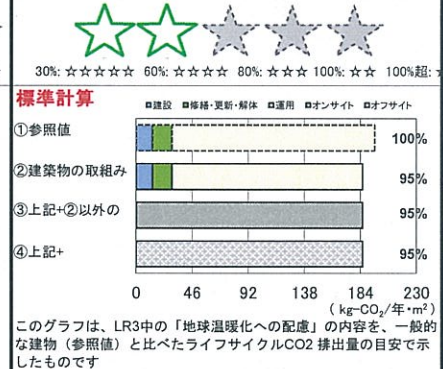
1-1 建物概要

建物名称	山陰労災病院	階数	地上7F
建設地	鳥取県米子市	構造	RC造、一部S造
用途地域	一種住居地域、法22条区域	平均居住人員	1,300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2018年4月20日
敷地面積	31,266 m ²	作成者	神谷優治
建築面積	4,805 m ²	確認日	2018年4月24日
延床面積	19,637 m ²	確認者	森嶋 浩

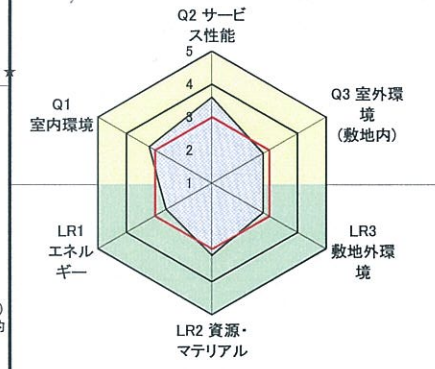
1-2 外観

外観パース等
図を貼り付けるときは、
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



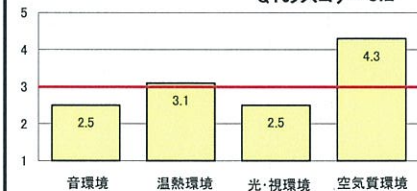
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6



Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

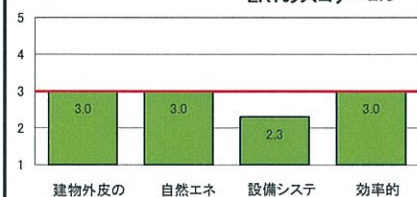


LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 2.8

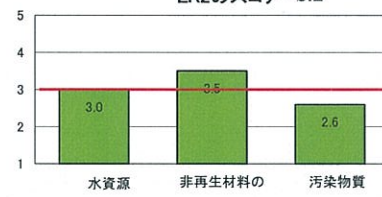
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6



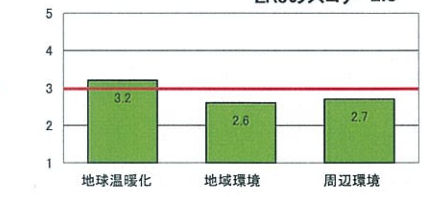
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8



3 設計上の配慮事項

総合

近隣への日影の影響に配慮した配置計画や既存樹木の保全など、周辺の景観や環境に配慮した計画としている。また、断熱性能の向上や空調のゾーン別制御などにより、室内環境やサービス性能を高め、アメニティの向上に努めている。

その他

Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材及び、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆)を全面的に採用し、化学物質の放散抑制に努めている。また、施設内は全面禁煙としている。

Q2 サービス性能

病室は、個室10m²/床、多床室8m²/床以上の十分な広さを確保している。また、天井高さは2.5m以上とし、開放的で快適なスペースづくりを行うとともに、将来の設備更新に配慮したゆとりある階高3.9mとしている。

Q3 室外環境 (敷地内)

既存樹木の保存に努め、景観や生物環境の保存に配慮している。

LR1 エネルギー

複層ガラスや屋根面に外断熱を採用するなど、熱負荷の低減に努めている。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル資材の採用や持続可能な森林から算出された木材を使用し、資源の保全に配慮している。

LR3 敷地外環境

建物を敷地南側に寄せて計画することで、周辺地域への日影の影響を極力少なくするとともに、北側に患者用駐車場を集約し、既存駐車場より多くの駐車台数を確保し、渋滞や路上駐車に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される